

科 目					担当教員(○主担当)				
花き装飾演習					○吉田久美子☆・林誠☆				
授業形態	演習	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	選択	分野	装飾
背景と目的	「サルがヒトになった瞬間は人が花を飾った時だ」と思想家の岡倉天心は語ったと言われている。花は喜びや悲しみと私たちの歴史生活に大きく関わってきた。その花の歴史や知識、今まで携わってきた過程を語れることができれば花をデザインする上で、人々に多くの感動を与えられる作品を生み出すことでしょう。本演習は花き装飾の魅力と社会的役割を理解し、デザイン性のより高い装飾技術と技法の習得を目的とする。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン理論や多様な作品を参考にし、デザイン力・発想力・提案力を習得する。 ・花き装飾の歴史的かつ文化的行事などの知識を得る。 ・デザイン理論に基づいた作品を制作する。 								
評価方法	出席率、取組姿勢、制作作品、学科試験、実技試験								
教科書	—								
参考書	「フラワーデザイナーのための花の教科書」(講談社エディトリアル)								
関連する資格	2級・3級フラワー装飾技能士 2級・3級園芸装飾技能士								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画		
実習・演習の進め方	講義で学んだことを演習にて形にして表現していく。	
回	項 目	授業内容
1	花き装飾のデザイン①	入学式会場装飾のデザイン 吉田・林
2	水揚げの理論と実践①	入学式会場装飾花材の水あげ 吉田・林
3	花き装飾の歴史①	オランダの花き装飾の歴史と変遷 吉田
4	花き装飾の歴史②	英国の花き装飾の歴史と変遷 吉田
5	花き装飾の歴史③	「ヨーロッパの花き装飾」と「日本の園芸装飾」の歴史と変遷 吉田
6	花き装飾のデザイン②	学園祭会場装飾のデザイン考案 吉田・林
7	水揚げの理論と実践②	学園祭会場装飾の花材調達 吉田・林
8	花き装飾のデザイン③	学園祭会場装飾の花の水あげ 吉田・林
9	花き装飾のデザイン④	学園祭会場装飾の制作 吉田・林
10	花き装飾のデザイン⑤	造形理論 林
11	花き装飾のデザイン⑥	デザイン理論 林
12	デザインとテクニック	「グリーン役割とその効果」「給水スポンジを使用しない花留め方法」 吉田・林
13	学科試験	試験 吉田・林
14	実技試験	試験 吉田・林
15	実技試験	実技試験作品の講評 吉田・林

注意事項	花き装飾コース専攻生には強く推奨。 学園祭会場装飾は「フラワーデザイン実習Ⅲ」・「卒業研究・卒業制作Ⅰ」に渡って取り組む。 3～5回は海外研修事前の学習として履修していない学生に対して聴講を積極的に受け入れる。
学生へのメッセージ	理論や知識も兼ね備えた、花を語れるフローリストを目指しましょう。

科 目					担当教員(○主担当)				
フラワーデザイン実習Ⅲ					○林誠☆・吉田久美子☆・國井理佐☆(非常勤講師)・長縄律子☆(客員教授)・今井田一夫				
授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	60	区分	選択	分野	装飾
背景と目的	<p>フローリストの仕事はクライアントの要望に合わせ花束、アレンジメントはもちろんのこと、空間を花や緑で飾るディスプレイの他、ブライダルやセレモニーといった特別の場のトータルコーディネートが求められます。</p> <p>『フラワーデザイン実習Ⅰ・Ⅱ』で培った技術を基に、特別な場であるセレモニーのトータルコーディネートを学ぶと共に、ヨーロピアンデザインを学び、アレンジメントデザインの幅を広げ発想力を豊かにすることを目的とする。</p>								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・セレモニーのトータルコーディネートを経験する。 ・空間を花で飾る技術を身に付ける。 ・フローリストとしての発想力や応用力を身に付ける。 								
評価方法	出席率、取組姿勢、筆記試験、実技試験								
教科書	『フラワーデザイナーのための花の教科書』(講談社)								
参考書	『NFDウエディングフラワーコーステキスト』(日本フラワーデザイナー協会)								
関連する資格	2級・3級フラワー装飾技能士								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画			
実習・演習の進め方	<p>デモンストレーションを参考に作品を制作する。</p> <p>デザイン・コンセプトを考え作品を制作する。</p> <p>グループでセレモニーのトータルコーディネートを実施する。</p>		
回	項 目	授業内容	
1	イベントのディスプレイ①	入学式会場装花の花材調査(岐阜生花市場見学)	吉田・林・今井田
2	イベントのディスプレイ②	入学式会場装花の制作・メンテナンス・撤去	吉田・林
3			
4	ヨーロピアンデザイン	「静止と動き」「高く挿された」「材質感を見せる」	長縄・林
5	フューネラル装花①	フューネラル装花の全容	長縄・林
6	フューネラル装花②	フューネラル装花の企画	長縄・林
7	フューネラル装花③	フューネラル装花の制作・メンテナンス・撤去	長縄・林
8			
9	イベントのディスプレイ④	学園祭会場装飾の制作	吉田・林
10	イベントのディスプレイ⑤	学園祭会場装飾の制作と撤去	吉田・林
11	ブライダル装花①	ブライダル装花の全容	國井・林
12	ブライダル装花②	ブライダル装花の企画	國井・林
13	ブライダル装花③	ブライダル装花の制作・メンテナンス・撤去	國井・林
14			
15	試験	ウエディングブーケ・ブートニア制作(各自花材調達)	國井・林

注意事項	<p>花き装飾コース専攻生には強く推奨する。</p> <p>実習にふさわしい服装で受講すること。</p> <p>学園祭会場装飾は「花き装飾演習」「卒業制作・研究」に渡って取り組む。</p>
学生へのメッセージ	<p>フローリストとしての発想力や応用力を身につけましょう。</p>

科 目					担当教員(○主担当)				
2級フラワー装飾技能検定対策実習					○吉田久美子☆・長縄律子☆(客員教授)				
授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	90	区分	選択	分野	装飾
背景と目的	2級フラワー技能士は、花の装飾に関わる仕事において、熟練した(中級の)技術を有していることを証明する国家資格で、実務経験がない学生が取得できる最高の資格である。本実習は実技試験対策として特別に技能検定協議員の指導を受けるなどして2級フラワー技能士の取得もしくは、同レベルの技術・知識の習得を目的としている。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・2級フラワー技能検定の合格水準の技術力を身に付ける。 ・学科試験のためのフラワーデザインに関する知識を身に付ける。 ・実技試験練習を繰り返すことでフローリストとしての作業所作を身に付ける。 								
評価方法	出席率、取組姿勢、実技試験、筆記試験								
教科書	—								
参考書	「フラワー装飾技能検定試験・実例とポイント」(講談社エディトリアル)								
関連する資格	2級フラワー装飾技能士								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画			
実習・演習の進め方	3課題7デザインを、花材の入荷と各自の習得スピードに合わせて、個別に指導を行う。技能検定協議委員の指導を受けることで、更に高い技術を目指す。		
回	項 目	授業内容	
1	国家試験の概要とデモンストレーション①	試験の概要説明とデモンストレーション	花束・アレンジ 吉田
2	国家試験の概要とデモンストレーション②	試験の概要説明とデモンストレーション	ウェディングブーケ 吉田
3	実技試験対策実習・課題①花束	ラウンド花束A	吉田
4	実技試験対策実習・課題①花束	ラウンド花束B	吉田
5	実技試験対策実習・課題②アレンジメント	トライアングュラー	吉田
6	実技試験対策実習・課題②アレンジメント	ファン	吉田
7	実技試験対策実習・課題②アレンジメント	ホリゾンタル	吉田
8	実技試験対策実習・課題③ブライダルブーケ	キャスケード	吉田
9	実技試験対策実習・課題③ブライダルブーケ	クレッセント	吉田
10	実技対策実習①	技能検定協議委員による指導①	長縄・吉田
11	実技対策実習②	技能検定協議委員による指導②	長縄・吉田
12	実技対策実習③	制限時間内での制作①	吉田
13	実技対策実習④	制限時間内での制作②	吉田
14	学科試験対策実習①	フラワー装飾一般・作業方法・植物一般・安全衛生について	吉田
15	学科試験対策実習②	過去問題・練習問題	吉田

注意事項	<p>担当教員と事前に相談の上、「相互科目履修申請書」を提出し、許可を受けた1年生も履修することができる。</p> <p>3級に比べ花材費もかかり、授業時間外も実習することが多くなることを承知の上、履修すること。</p>
学生へのメッセージ	2級合格目指しましょう。成績優秀者は技能五輪全国大会への出場のチャンスがあります。

科 目					担当教員(○主担当)				
花修景実習Ⅲ					○相田明・上野恵☆(非常勤講師)				
授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	必修	分野	造園
背景と目的	花修景実習Ⅱに続き、学内のボーダーガーデン及び学外の花フェスタ記念公園を実習地とするこの実習は、1・2年草や宿根草、さらに樹木の植栽計画・管理の習得を目的とする。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公園における花修景の年間管理を理解する。 ・宿根草の芽吹きなど成長過程を観察することにより植物を見分けることができる。 ・ボーダーガーデンの植栽計画及び管理ができる。 								
評価方法	出席率、取組姿勢、提出物								
教科書	『小さくても素敵な花壇づくり』(講談社)								
参考書	—								
関連する資格	—								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画			
実習・演習の進め方	花フェスタ記念公園の実習ではバスを利用し移動する。		
回	項 目	授業内容	
1	ボーダーガーデンの植栽①	宿根草などの植栽①	相田
2			
3	夏花壇の植栽①	1年草などの植栽(花フェスタ)①	相田・上野
4			
5	夏花壇の植栽②	1年草などの植栽(花フェスタ)②	相田・上野
6			
7	ボーダーガーデンの植栽②	宿根草などの植栽②	相田
8			
9	ボーダーガーデンの管理①	宿根草などの管理、株分け・鉢上げ①	相田
10			
11	夏花壇の管理	植栽管理と生育調査(花フェスタ)	相田・上野
12			
13	夏花壇の植栽③	1年草などの植栽(花フェスタ)③	相田・上野
14			
15	ボーダーガーデンの管理②	宿根草などの管理、株分け・鉢上げ②	相田

注意事項	実習ではハサミ、手袋、帽子、作業しやすい服装が必要。
学生へのメッセージ	ボーダーガーデンは日々変化する庭です。日々管理しなければ、維持することができない庭です。四季の変化のあるボーダーガーデンをつくりましょう。

科 目				担当教員(○主担当)					
造園施工・管理実習Ⅲ				○新井俊宏☆・相田明・佐竹康太郎☆(非常勤講師)・ 藤吉栄一☆(非常勤講師)・渡邊三好☆(非常勤講師)					
授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	90	区分	選択	分野	造園
背景と目的	『造園施工・管理実習Ⅰ、Ⅱ』で行った実習の一部を再度行い、技術を確実に習得するとともに、卒業制作に向けて必要となる造園技術の習得を目標とする。 施工実習では、これまでの実習で得た技術を生かして、学内外に造園施設を制作する。管理実習では、担当エリアを決め学内庭園や植物について時期や生育特性に合わせた管理方法について年間を通した実習をする。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・造園植物(樹木、下草、芝生など)の生育特性を踏まえた管理方法を習得する。 ・特殊伐採技術を用いた管理方法を習得する。 ・造園施設(張り芝、石積み、園路、景石など)の施工方法を習得する。 ・造園空間の特性を理解する。 								
評価方法	出席率、取組姿勢、実技試験、提出物								
教科書	『造園施工必携』(日本造園組合連合会)								
参考書	—								
関連する資格	2級・3級造園技能士、2級造園施工管理技士								

☆☆のある教員は実務経験有り

授業計画		
実習・演習の進め方	学内の庭園や植栽地をフィールドとして、造園施工作業及び造園管理作業の実習を行う。 学外施工は花フェスタ記念公園で造園空間を制作する。 学外での造園空間調査、材料調査も行う。	
回	項 目	授業内容
1	造園管理①	屋外造園空間・屋上庭園・園芸療法ガーデン等の管理 新井・相田
2	造園管理②	芝生地の土壌改良、張り芝工 新井・相田
3	造園管理③	花木の剪定 新井・相田
4	造園管理④	クロマツのミドリ摘み 佐竹・新井
5	造園管理⑤	樹木病害虫の防除 新井・相田
6	造園施工①	造園工事の位置出し、遣り方 渡邊・新井
7	造園施工②	石積み準備工(石材撤去、地ならし) 藤吉・新井
8	造園施工③	自然石野面積み 藤吉・新井
9	学外施工①	準備工(花フェスタ記念公園) 新井・相田・渡邊
10	学外施工②	敷地造成工・石組工(花フェスタ記念公園) 新井・相田
11	学外施工③	園路工・植栽工(花フェスタ記念公園) 新井・相田
12	学外管理	学外に制作した小庭園の管理(花フェスタ記念公園) 新井・相田
13	造園管理⑦	屋外造園空間・屋上庭園・園芸療法ガーデン等の管理 新井・相田
14	造園空間調査	庭園施工事例の視察調査(愛知県) 佐竹・新井
15	造園材料調査	造園資材店での材料調査(小牧市) 新井

注意事項	<p>実習時は作業着、グローブ、保護帽などを着用すること。</p> <p>天候などの理由により実習内容を変更する場合がある。</p> <p>夏期の高温時の作業では、熱中症防止のため帽子を着用し水分補給をすること。</p> <p>体調管理を十分にすること。</p>
学生へのメッセージ	1年生で学んだ知識や技術を、より確実に身につけられるように取り組んでください。

科 目					担当教員(○主担当)				
造園計画演習					○相田明・新井俊宏☆				
授業形態	演習	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	選択	分野	造園
背景と目的	大きく2つのテーマがある。ひとつは卒業研究・卒業制作 I (花フェスタ記念公園の岐阜県立国際園芸アカデミー実習フィールドを予定)で施工する小庭園の設計、もうひとつは習作として個人住宅の庭園の設計を行う。この2つにより構想、計画、設計の一連の流れを理解することを目的とする。								
到達目標	・縮尺の概念と感覚を理解する。 ・発想力、デザイン力、プレゼンテーション力を高める。								
評価方法	出席率、取組姿勢、プレゼンテーション、成果物								
教科書	『造園施工必携』(日本造園組合連合会)								
参考書	—								
関連する資格	—								

☆☆のある教員は実務経験有り

授業計画			
実習・演習の進め方	小庭園の設計は花フェスタ記念公園で施工する図面を作成する。また、住宅庭園の計画・設計は個人課題となる。		
回	項 目	授業内容	
1	小庭園の構想	設計作業の流れと基礎調査(現地測量、現況図・計画平面図の作成、構想立案)	相田・新井
2			
3	小庭園の計画①	個人案の作成①	相田・新井
4			
5	小庭園の計画②	個人案の作成②	相田・新井
6			
7	小庭園のプレゼンテーション	各自案の提示、質疑応答・講評	相田・新井
8			
9	住宅庭園の計画・設計①	全体構想(テーマ・コンセプトの設定)、基本構想・基本計画(ゾーニング・動線計画・園路計画など)	相田・新井
10			
11	住宅庭園の計画・設計②	平面図・立面図・断面図・詳細図、イメージスケッチの作成	相田・新井
12			
13	住宅庭園のプレゼンテーション	各自案の提示、質疑応答・講評	相田・新井
14			
15	住宅庭園の計画・設計のまとめ	住宅庭園の計画・設計のまとめ	相田・新井

注意事項	—
学生へのメッセージ	これまで学んだことを生かしながら、設計を進めましょう。

科 目					担当教員(○主担当)				
2級造園技能検定対策実習					○新井俊宏☆・相田明・藤吉栄一☆(非常勤講師)				
授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	選択	分野	造園
背景と目的	造園技能士資格検定は造園に関するさまざまな知識と技能の検定を行い、その合格者だけに与えられる国家資格である。造園技能士は、一般のご家庭の庭づくりや維持管理ばかりでなく、大規模な公共工事では現場に参加することが義務づけられるなど、社会的な必要性は益々高まっている。 この授業では2級造園技能検定試験に合格するための知識、技術を習得することを目標とする。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学科試験の合格水準に達する知識を習得する。 ・実技試験の課題制作が、規定時間内に規定の寸法どおりに完成することができる。 ・実技試験の要素試験に出題される樹木を判別することができる。 								
評価方法	出席率、取組姿勢、実技試験								
教科書	『造園実技作業の手引き』・『造園技能検定学科試験問題集』(日本造園組合連合会)								
参考書	『2級造園技能検定 DVD』(日本造園組合連合会)								
関連する資格	2級造園技能士								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画		
実習・演習の進め方	6月～8月に検定試験日程に合わせて集中開講する(一部夏季休業中に実施)。 学科試験対策は、受験の手引きに掲載されている過去問題を解きながら解説を行う。 実技試験の課題制作対策は、練習場において、繰り返し課題を制作して練習する。 実技試験の要素試験対策は、学内の樹木枝を標本木として枝、葉、芽などの特徴を覚える。	
回	項 目	授業内容
1	学科・実技試験概要	学科・実技試験対策講義 新井
2	実技試験対策①	実技試験課題の練習① 藤吉・新井
3		
4	実技試験対策②	実技試験課題の練習② 藤吉・新井
5		
6	学科試験対策	過去問題による学科試験対策 新井
7	実技試験対策③	要素試験対策 新井
8	実技試験対策④	実技試験課題の練習③ 藤吉・新井
9		
10	実技試験対策⑤	実技試験課題の練習④ 藤吉・新井
11		
12	実技試験対策⑥	実技試験課題の練習⑤ 藤吉・新井
13		
14	実技試験対策⑦	実技試験課題の練習⑥ 藤吉・新井
15		

注意事項	担当教員と事前に相談の上、「相互科目履修申請書」を提出し、許可を受けた1年生も履修することができる。 天候などの理由により実習日程を変更する場合がある。 夏期高温時の作業となるため、熱中症防止のため帽子を着用し水分補給をするなど、体調管理を十分にすること。
学生へのメッセージ	国家試験をとおして造園の奥深さや面白さを体験してください。

科 目					担当教員(○主担当)				
CAD製図実習					○相田明・堀部裕美子☆(非常勤講師)				
授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	選択	分野	造園
背景と目的	文章を手書きではなくパソコンを用いて書くように、造園の設計図もパソコンを利用する時代となっている。設計図を描くソフトウェアである CAD による作図の基礎を学び、今後の造園設計に役立てることを目的とする。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・CAD の基本作図ができる。 ・CAD による基本的な2D作図ができる。 ・CAD による基本的な3D作図ができる。 								
評価方法	出席率、取組姿勢、提出物								
教科書	『CAD リテラシー演習』、『はじめてのVectorworks』、『Vectorworks3D のスタート』(A&A)								
参考書	—								
関連する資格	—								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画		
実習・演習の進め方	岐阜県農業大学校の情報処理室で実施する。	
回	項 目	授業内容
1	CADとは	手書きによる製図とCAD・エクステリア用 CAD 相田
2	VectorWorksの基礎①	起動から新規作成・保存 相田
3	VectorWorksの基礎②	レイヤとクラス 相田
4	作図の基本①	トレーニング 直線・ダブルライン、四角形・斜め四角の描画 相田
5	作図の基本②	トレーニング 多角形、正四角形、曲線・フリーハンド図形の描画 相田
6	2D図形の編集①	多角形の編集・消しゴムツール、フィレット・面取り・オフセット 相田
7	2D図形の編集②	回転ツール・ミラー反転ツール・パス複製ツール 相田
8	平面図の実践トレーニング①	図面の制作(3級造園技能士施工図)① 相田
9	平面図の実践トレーニング②	図面の制作(3級造園技能士施工図)② 相田
10	平面図の実践トレーニング③	図面の制作(2級造園技能士施工図)① 相田
11	平面図の実践トレーニング④	図面の制作(2級造園技能士施工図)② 相田
12	3D図形の編集①	柱状体・錘状体を使って描画 相田・堀部
13	3D図形の編集②	多段柱状体を使って描画 相田・堀部
14	3D図形の編集③	3D図面の制作① 相田・堀部
15	3D図形の編集④	3D図面の制作② 相田・堀部

注意事項	「測量・製図実習」の履修者、もしくは製図の基礎を理解している学生を対象とする。 春季休暇中に集中授業を行う。
学生へのメッセージ	CAD のソフトウェアは操作が複雑で難しいと感じるかもしれません。しかし、一度覚えると卒業制作などの図面を修正するとき便利なのが実感できると思います。

科 目					担当教員(○主担当)				
起業・経営シミュレーション					○佐藤智茂☆				
授業形態	講義	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	選択	分野	共通
背景と目的	営利(非営利も含む場合有)組織の活動目的は、経営資源の最適配分を通じた組織運営を行い、獲得できる利潤の最大化を図ることであり、私たちの“働く”という行為は、この経営活動に参加しているということでもある。自らが起業したと想定し、経営資源をどのように活用して利潤を獲得し目標を達成し、自分にとっての“働く意味や意義”を考える機会とする。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・経営理念、ビジョンといった『上位概念』の重要性を学ぶ。 ・簡単な経営計画書(損益計算書ベース)の作成スキルを学ぶ。 ・“利益”と“キャッシュ(現金)”の違い(単純化したキャッシュフロー計算)を学ぶ。 ・働く際に「組織における自らの役割と貢献」を理解する。 								
評価方法	受講態度、提出物、最終発表(プレゼンテーション)								
教科書	—								
参考書	初回講義時に説明する								
関連する資格	大阪商工会議所主催 ビジネス会計検定3級								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画		
回	項 目	授業内容
1	オリエンテーション	授業の概要説明 佐藤
2	基本理論講義①	わかりやすいマクロ経済 佐藤
3	基本理論講義②	組織にとって“目指すもの”の大切さ(映像視聴) 佐藤
4	基本理論講義③	働く人にとって“目指すものへの想い”の大切さ(映像視聴) 佐藤
5	基本理論講義④	企業の組織にかんする基本的知識 佐藤
6	基本理論講義⑤	経営資源としての“カネ”を考える(映像視聴) 佐藤
7	プレゼンテーション	これまでの講義を踏まえた“起業計画”を発表(途中経過) 佐藤
8	基本理論講義⑥	財務会計の基本① 損益計算書 佐藤
9	基本理論講義⑦	財務会計の基本② 貸借対照表 佐藤
10	基本理論講義⑧	財務会計の基本③ 利益とキャッシュの関係 佐藤
11	基本理論講義⑨	管理会計の基本(固定費と変動費、CVP分析) 佐藤
12	基本理論講義⑩及び演習①	予想損益計算・資金繰りの検討と計画表の作成について 佐藤
13	演習②	予想損益計算書・簡易資金繰り計画表の作成演習 佐藤
14	基本理論講義	税務会計基礎(個人と法人、利益と所得) 佐藤
15	プレゼンテーション	“起業計画”(最終)の発表及び相互批評 佐藤

注意事項	<p>「基礎会計」の履修者を対象としている。</p> <p>受講者の理解程度を勘案し、授業内容・進捗等を変更する場合がある。</p> <p>授業時に随時映像資料(テレビ番組等)を視聴する機会がある。</p>
学生へのメッセージ	<p>授業タイトルに『起業・経営』とありますが、働く人(ビジネスパーソン)すべてにとって学ぶ価値のある学習内容であると考えています。学習負荷(予習・復習・課題)は掛かりますが、未来の自分への価値ある投資と考え、興味を持った学生は是非チャレンジしてください。</p>

科 目					担当教員(○主担当)				
商品動向リサーチⅡ					○井上守☆				
授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	必修	分野	共通
背景と目的	一般に植物の呼称は和名、学名、英名、品種名、俗名などが錯綜しており、小売店、ガーデンセンターなどの現場において、植物名を正しく扱うことは複雑で難しいと感じている社員が少なくない。そこで、本授業では、商品動向リサーチⅠから引き続き、集大成として金額ベースでの年間取り扱い上位 292 品目の学名や管理方法などを学習し、就職先で頼りにされる存在になることを目的とする。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱い上位 292 品目に学名や管理方法について知る。 ・植物について正しい情報発信できる。 ・植物の特性を理解して、正当な付加価値をつけた商品企画、提案できる。 ・マイクロソフト エクセルにおいて、植物名、植物管理方法をまとめたデータベースを作成できる。 								
評価方法	データベースの作成成果、試験								
教科書	『日本花名鑑 4』(アボック社)								
参考書	『学生に役立つ Microsoft Excel 2013 応用』 FOM 出版								
関連する資格	—								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画		
実習・演習の進め方	商品動向リサーチⅠで学習した秋冬期 196 品目に続き、春夏期のみが登場する上位 96 品目を加えた 292 品目のリストが渡され、花木センターでリストの植物を探し撮影して、エクセルにて 292 品目のデータベースを作成する。最後に 292 品目について、写真から植物名を同定する確認試験を行う。	
回	項 目	授業内容
1	ガイダンス	授業の進め方 井上
2	植物の調べ方、撮影方法	図鑑やインターネットを利用した植物の調べ方と撮影の基礎 井上
3	日本ライン花木センターでの調査(5月)	日本ライン花木センターでの苗物、鉢物、樹木の写真撮影・調査。季節ごとの品目の解説 井上
4		
5	岐阜生花市場視察	岐阜生花市場で県内の切花流通事情を視察 井上
6		
7	日本ライン花木センターでの調査(7月)	日本ライン花木センターでの苗物、鉢物、樹木の写真撮影・調査。季節ごとの品目の解説 井上
8		
9	データベース作成、植物調べ	データ整理、画像処理等、図鑑による植物調べ 井上
10		
11	日本ライン花木センターでの調査(9月)	日本ライン花木センターでの苗物、鉢物、樹木の写真撮影・調査。季節ごとの品目の解説 井上
12		
13	データベース作成、植物調べ	データ整理、画像処理等、図鑑による植物調べ及び商品企画・提案 井上
14		
15	試験	井上

注意事項	デジカメ、USB メモリ等が必要。(使用には学校への届け出が必要)
学生へのメッセージ	素晴らしいイベントの企画や商品提案のセンスは、突然頭にひらめくものではありません。実は確かな植物の基本的知識から生まれているのです。一緒に汗を流しましょう。

科 目				担当教官(○主担当)					
植物管理基礎実習Ⅲ				○前田宝秀・今井田一夫・吉田久美子☆・林誠☆・相田明・新井俊宏☆・井上守☆・佐藤智茂☆					
授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	45	区分	必修	分野	共通
背景と目的	生産・装飾・造園の各分野において、四季を通じて植物を管理するための知識および技術は必ず習得すべきものである。また、習得した知識・技術を他人に伝える能力は、社会で働く上で重要である。 本実習では、同実習Ⅰ・Ⅱを通じて1年間学んできた植物管理知識、技術、経験を1年生に伝えることで、自分のレベルを再確認するとともに、どのようにして相手に対して自分の知識、技術等を伝えれば良いのかを学ぶ。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・春夏季における植物の種類による管理方法の違いを理解する。 ・春夏季における灌水技術を習得する。 ・春夏季における温室の管理技術を習得する。 ・上記の知識・技術を他者に伝達する能力を身に付ける。 								
評価方法	出席率、取組姿勢、週間レポート								
教科書	—								
参考書	—								
関連する資格	—								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画			
実習・演習の進め方	原則1週間(水曜日～翌週火曜日)を単位として管理業務を行う。学生の班編制を行い、半期の計画を作成して実習を行う。学生の班編制は、季節の作業内容や管理するエリア等を考慮して人数を決める。1年生1名に対して2年生1名が原則として組み、当番教員が植物管理について指導を行う。		
回	項 目	授業内容	
1	植物の種類と管理	植物の種類に応じた管理方法を習得する。	週担当教員
2			
3	土壌と灌水①	土壌の性質と水管理について学ぶ。	週担当教員
4			
5	土壌と灌水②	自動灌水と手灌水による管理技術を習得する	週担当教員
6			
7	植物の生長・開花①	環境(温度・光・水・風)の変化による植物の生長の違いを学ぶ。	週担当教員
8			
9	植物の生長・開花②	植物の特性に応じた環境調節(遮光、保温、暖房等)技術を習得する。	週担当教員
10			
11	植物の総合管理	花殻摘み・除草などの植物維持管理技術を習得し、また、病害虫の生態についても学ぶ。	週担当教員
12			
13	1年生への指導	植物管理について習得した知識・技術を1年生に伝達し指導を行う。	週担当教員
14			
15	レポート作成	学習進捗のチェックを行う。	週担当教員

注意事項	半期の計画に基づき、おおむね1週間の当番を複数回行う。 実習時間は原則として、朝8時から8時45分、夕方4時35分から5時5分までとする。 祝日および長期休暇期間中も行う。
学生へのメッセージ	植物管理基礎実習Ⅰ・Ⅱを通じて身に付けた植物管理についての知識・技術を再確認すると同時に、1年生への管理指導を行うことでさらなるスキルアップを目指して下さい。

科 目				担当教員(○主担当)					
園芸文化演習				○今西良共・武田純☆(客員教授)・鹿野陽子☆(客員教授)・渡辺雅子☆非常勤講師)・佐藤智茂☆					
授業形態	講義演習	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	選択	分野	共通
背景と目的	人は植物を観ること、食すること、活用することを通じて自らの生活・環境をより豊かなものにしてきた長い歴史があり、私たちと植物、引いては園芸・造園は切っても切れない強い結びつきがある。 この授業では、歴史・文化の一大集積地である京都を訪ね、日本の園芸・造園の歴史を体現している都市公園や文化財庭園などを視察し、伝統文化に対する見聞を広げ、考察を深める。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日本の園芸・庭園文化を体感し、自らの見識を養う。 これまでに学んできた「花と緑」に関する知識や技能と園芸文化との繋がりを理解する。 園芸・造園の社会的意義、長い歴史に培われて来た文化的景観に触れ、考察を深める。 								
評価方法	受講態度、レポート								
教科書	—								
参考書	—								
関連する資格	—								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画		
実習・演習の進め方	京都視察研修は8月(夏季休暇中)に集中授業(2泊3日)として実施予定である。	
回	項 目	授業内容
1	ガイダンス	京都研修事前説明・講義(ビデオ視聴) 今西・佐藤
2	京都視察研修(1日目)	①講義:造園の思想と技法 ②視察:梅小路公園(朱雀の庭を主に) 武田・今西・佐藤
3		
4		
5		
6	京都視察研修(2日目)	無鄰菴 等 武田・今西・佐藤
7		
8		
9		
10	京都視察研修(3日目)	視察:天龍寺庭園及び嵐山公園界限(文化財庭園・景観) 武田・鹿野・今西・佐藤
11		
12		
13		
14	暮らしの中の園芸文化①	日本の伝統行事と植物 渡辺・佐藤
15	暮らしの中の園芸文化②	古から伝わる諺と植物 渡辺・佐藤

注意事項	<p>明確な学習意欲を持って履修すること。</p> <p>京都研修における移動交通手段(発着地の往復、京都市内移動)は公共交通機関を利用する予定である。また京都研修にかかる諸費用は全て現地に現金払いとなる。</p> <p>京都研修時の服装や夜間行動等、団体行動であるため指導教員の指示に従う必要がある。</p>
学生へのメッセージ	『千年の都』とも称される京都の文化財庭園・都市公園・文化的景観を訪ね、そして観ることを通じて日本の園芸文化を肌で感じ、学んでください。

科 目				担当教官(○主担当)					
キャリアデザインⅢ				○佐藤智茂☆今西良共					
授業形態	講義	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	必修	分野	共通
背景と目的	若年就業者層の短期的な離転職、また経済的に不安定な状況の長期化など、安定したキャリア形成や収入確保に関する厳しい就労・勤労環境は今もお続いていると思われる。 こうした課題に学生自らが一人の生活者・労働者として対応できるよう、知っておくべき労働や租税に関する基礎的な法律知識、また他者と協働できる創造的な人材となるためのディスカッションスキルを学ぶ。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活設計の立て方(主に金銭・給与面)を理解する。 建設的なディスカッション(討論)の手法を理解する。 基本的な労働法規、租税法規を理解する。 								
評価方法	提出物、受講態度、出席率								
教科書	—								
参考書	—								
関連する資格	—								

☆☆のある教員は実務経験有り

授業計画		
回	項 目	授業内容
1	オリエンテーション (ライフプラン作成)	就職活動の大切さを知り、今後学ぶ知識の必要性・重要性を知る 佐藤
2	就職活動の全体像を知る	面接試験以降の一般的な就職活動の流れ、面接突破のポイントを学ぶ(映像資料使用) 佐藤
3		
4	グループ討議(会議)の実践	ディスカッションを通じた意思疎通や合意形成、生産性の向上について体感する 佐藤
5		
6		
7		
8	新卒社員に関する様々なデータ紹介、求人票の見方	各種統計データの紹介を通じた会社・職業選択の重要性を知り、求人票を見る(内容を読む)場合のポイントを学ぶ 佐藤
9		
10	労働法規の基礎知識	働く人を守る法律である“労働法”の基本を学ぶ 佐藤
11		
12	給与明細の見方、租税法規(所得税中心)の基礎知識	給与明細と源泉徴収票(給与所得)の見方、給与等にかかる税金や社会保険料等、そして「国民の義務」である納税について学ぶ 佐藤
13		
14		
15	最後に	『キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ』の最終講義にあたり(学長講義『私の職業人生』) 今西・佐藤

注意事項	第8回～14回講義の内容は順序を変更する場合もある。
学生へのメッセージ	新しい時代を生きる若い人に求められる多様性への寛容(自分と違う意見や観点を受容する)を実感し、働く人に保証されている権利を、そして社会の構成員として負う義務(納税)に関する正しい知識を学びましょう。この授業はアカデミーを巣立つ皆さんへ、担当教員からの“贈り物”です。

科 目				担当教員(○主担当)					
海外視察研修				○今西良共・井上守・各コース教員					
授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	90	区分	必修	分野	共通
背景と目的	グローバル化の流れは園芸業界にも押し寄せており対応してゆかねばならない。そこで、世界最大規模のチェルシーフラワーショーの開催に合わせて英国を訪問し、最新のフラワーデザインやガーデン展示と関連施設を視察し、国際都市ロンドンの園芸産業の動向を理解する。また、ロンドンやコッツウォルズ地方の伝統的な有名庭園をめぐり、イングリッシュガーデンの魅力を理解することで、園芸に関する理解を深めると共に国際感覚を養う。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・チェルシーフラワーショー及び国際都市ロンドンで、フラワー、ガーデンの最新のデザインを知る。 ・英国の有名庭園の魅力を知る。 ・英国の花き流通施設を知る。 ・海外体験を通して国際感覚を養う。 								
評価方法	事前調査、研究内容、取組姿勢、発表会								
教科書	—								
参考書	—								
関連する資格	—								

授業計画		
実習・演習の進め方	視察は5月21日～5月29日(7泊9日)を予定。オックスフォード3泊、ロンドン4泊。	
授業計画		
回	項 目	授業内容
1	ガイダンス	概要説明 今西・井上
2	個人課題と視察計画①	個人課題を設定 各コース教員
3	個人課題と視察計画②	調査計画を作成 各コース教員
4	事前研修①	ヨーロッパデザイン 吉田
5	事前研修②	英国園芸の歴史とその特徴 相田
6	旅行会社 ガイダンス	旅行会社による事前ガイダンス 今西・井上
7	海外視察研修①	<コッツウォルズ地区> ポートンオンザウォーター視察 今西
8	海外視察研修②	ヒドコートガーデン、キフツゲートガーデン等視察 今西
9	海外視察研修③	スードリー城、ブレナム宮殿視察 今西
10	海外視察研修④	<ロンドン地区> フラワービジョン、ウィズレーガーデン視察 今西
11	海外視察研修⑤	チェルシーフラワーショー、大英博物館視察 今西
12	海外視察研修⑥	班別テーマ視察 今西
13	海外視察研修⑦	キューガーデン、ニューコベントガーデン視察 今西
14	発表準備	発表にむけて準備 各コース教員
15	発表	プレゼンテーション 各コース教員

注意事項	諸事情により海外視察研修に参加できない場合は、担当教員と相談のうえ、国内研修に振り替えることができる。また、渡航先の諸事情により、視察先が変更となる場合がある。
学生へのメッセージ	チェルシーフラワーショーが開催される5月後半は、園芸業界は繁忙期で一度就職してしまうと、なかなか見に行くチャンスはありません。同ショーで感じたこと・刺激を受けたことは、今後の園芸人生に生かされることと思いますので、皆さん、この機会にぜひ行きましょう。

科 目					担当教員(○主担当)				
職場体験実習Ⅱ					○各コース担当教員・佐藤智茂☆				
授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	60	区分	選択	分野	共通
背景と目的	近年、新卒者の3年内離職率(厚生労働省調べ。短大等卒)は40%を超えており、就業後のミスマッチによる労使双方の不利益が発生していると考えられる。この科目では、学生が受入先企業等で「実際に職務に臨むための姿勢や態度」を実践し、今後の進路・職業選択に活かし、そして今後の授業に積極的な参加をすることを目的とする。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として、組織の一員として働くことの心構えやマナーを習得する。 ・受入先企業等の全般的な仕事内容に関して、体験に基づいた知見を得る。 								
評価方法	受入先企業等の評価、日報、報告書								
教科書	—								
参考書	—								
関連する資格	—								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画		
実習・演習の進め方	担当教員との十分な事前打ち合わせ 受入先企業等の社員の指導下で『7日以上』の業務従事 報告書作成・提出	
回	項 目	授業内容
1	担当教員面談	受入先企業・団体や従事期間等の検討 各コース担当教員
2	インターンシップ実施	受入先企業等での業務に従事(実習) 各コース担当教員
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	報告書作成	提出する報告書の作成 各コース担当教員

注意事項	受入先企業等の選定や事前の準備など、所属するコースの教員と十分に相談を行うこと。 「業務従事中は受入先企業の一員である」意識を持ち、立ち居振る舞い(ビジネスマナー)に注意し、また実習時は不注意による怪我や器物の破損など、事故のないよう十分に留意すること。
学生へのメッセージ	選択授業ですので、『職場体験実習Ⅰ』以上に自分なりのテーマ(主題)を持ち、就職を検討している業界・業種・企業等の“仕事”を学び、今後の学習への動機付けとなるよう努めてください。

科 目				担当教員(○主担当)					
造園工学・施工論				○新井俊宏☆・三浦景樹☆(非常勤講師)・渡邊三好☆(非常勤講師)					
授業形態	講義	開講時期	2年後期	時間数	30	区分	選択	分野	造園
背景と目的	建設業法で定められている造園工事業では、その専門性に精通している造園施工管理技士の資格を有した人材が必要とされている。造園施工管理技士学科試験合格のためには幅広い出題範囲をカバーした受験対策が必要となる。この授業では現場経験のない学生を対象として、造園施工管理技士2級学科試験合格を目標として指導する。								
到達目標	・2級造園施工管理検定の学科試験について合格水準に達するよう知識を習得する。								
評価方法	出席率、受講態度、筆記試験								
教科書	合格講義 2級施工管理試験								
参考書	「造園施工必携」(日本造園組合連合会)								
関連する資格	2級造園施工管理技士								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画		
実習・演習の進め方	10月末～11月中旬に集中開講する。 学科試験対策は、過去問題を解きながら、ポイントの解説を行う。 施工管理現場の視察を行うとともに、卒業後に受ける実地試験対策についても講義を実施する。	
回	項 目	授業内容
1	施工管理の職能について	資格と実務(講義) 三浦・新井
2	石材、植物以外の主たる造園材料	石材・木材・セメント・タイル・レンガ等 新井
3	植物材料(花壇材料を含む)	分類・特性・品質と規格・繁殖・一、二年草・宿根草・球根植物等 新井
4	土壌と肥料、植生	土壌・肥料・植生 新井
5	植栽計画、移植工、植栽工	調査と計画・植栽施工準備・移植の条件と方法・植栽時期と施工 新井
6	植栽管理	整枝剪定・病害虫 新井
7	公園施設	遊戯施設・屋外運動施設など 新井
8	土工事	盛土と切土・土量の配分・建設機械と施工能力等 新井
9	コンクリート工事、舗装工事、擁壁工事	コンクリートの施工と品質管理・アスファルト舗装・鉄筋コンクリート擁壁等 新井
10	建築工事、設計・測量	木造建築・茶室・測量・設計図書等 新井
11	設備関連工事	建築工事・電気工事・給水工事・排水工事 新井
12	施工管理の実務(学外視察)	施工管理・工程管理・品質管理・安全管理 渡邊・新井
13	施工管理の実務(学外視察)	現場施工管理の実際 渡邊・新井
14	安全衛生、施工及び施工管理関連法令	安全衛生に関する法令・施工及び施工管理に関連する法令 新井
15	最近の試験動向について	学科試験・実地試験経験記述 三浦・新井

注意事項	申し込みは7月中旬～7月下旬、試験日11月中旬、合格発表は1月中旬である。 在学中は学科試験のみ受験可能である。実地試験は実務経験年数2年以上で受験可能となる。
学生へのメッセージ	造園施工管理技士は、造園施工管理会社、公園管理団体、公務員などの職場で必要となる資格なので、造園分野への就職希望者には学科試験の受験を薦めます。

科 目					担当教員(○主担当)				
園芸福祉論・実習					○相田明・影山むつみ☆(非常勤講師)・石神洋一☆ (非常勤講師)				
授業形態	講義 実習	開講 時期	2年 後期	時間数	30	区分	選択	分野	共通
背景 と 目的	農業や園芸には、環境保全や生活の楽しみ・文化を担うといった側面がある。これらの多面的機能を利用した園芸療法や園芸福祉は、人々に楽しみや癒しを与え、QOL(生活の質)の向上に役立つ。本授業では講義と実習によりこの分野の理解を含め、実際の活動を主体的に展開するための知識と計画立案について学ぶ。								
到達 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸福祉の全容を理解する。 ・園芸福祉プログラムを立案することができる。 ・初級園芸福祉士の受験資格を得る。 								
評価方法	出席率、受講態度、取組姿勢、提出物								
教科書	『園芸福祉入門』(創森社)								
参考書	『バイオセラピー学入門』(講談社)								
関連する資格	初級園芸福祉士								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画		
実習・演習の 進め方	基本的に2コマ連続で授業を実施し、1コマ目は講義、2コマ目は実習を行う。	
回	項 目	授業内容
1	園芸療法と園芸福祉①	その活動と現代的意義 石神・相田
2	園芸療法と園芸福祉②	心身への効果・医療と福祉・活動事例・活動プログラム 石神・相田
3	園芸療法と園芸福祉活動①	活動プログラム立案 石神・相田
4	園芸療法と園芸福祉活動②	活動プログラム立案 石神・相田
5	園芸療法と園芸福祉での植栽①	植物の種類と育て方 相田
6	園芸療法と園芸福祉での植栽②	オーガニックのレイズドベッド(立ち上げ花壇) 相田
7	園芸福祉活動の普及①	活動の組織と人づくり・オープンガーデン 相田
8	園芸福祉活動の普及②	事業化と運営管理・NPO・市民農園 相田
9	園芸福祉活動の普及③	地域活動としての園芸療法と園芸福祉 相田
10	園芸福祉活動の展開①	ワークショップを導入した園芸福祉活動 相田
11	園芸福祉活動の展開②	ワークショップを導入した園芸福祉活動 相田
12	ハーブの利用方法	ハーブの種類と栽培方法と利用方法 影山・相田
13	ハーブを使った活動プログラム	ドライハーブを利用したセッション 影山・相田
14	アロマセラピー	アロマセラピーの歴史・効能・精油 影山・相田
15	精油を使った活動プログラム	精油を利用したセッション 影山・相田

注意事項	単位取得者は、初級園芸福祉士養成講座認定校修了証が交付され、初級園芸福祉士の受験資格を得ることができる。受講者は受験することを目標とする。試験日は2月中旬の予定である。
学生への メッセージ	園芸福祉とは農園芸活動を通じた幸福の追求です。まだ、新しい分野ですので、今後の発展が楽しみです。

科 目					担当教員(○主担当)				
職場体験実習Ⅲ					○各コース担当教員・佐藤智茂☆				
授業形態	実習	開講時期	2年後期	時間数	150	区分	必修	分野	共通
背景と目的	近年、新卒者の3年内離職率(厚生労働省調べ。短大等卒)は40%を超えており、就業後のミスマッチによる労使双方の不利益が発生していると考えられる。この科目では、職場体験実習Ⅰ・Ⅱを踏まえ「仕事に臨む姿勢や態度」を十分に実践できるようになることを目指す。また就職・企業選択など今後の進路選択活動を円滑に行うための、そして今後の授業を自らの抱える学習課題解決の場と捉えるための契機とする。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知識・技能水準を改めて見直し、卒業研究・制作等今後の学習活動の課題を掴む。 ・社会人として、組織の一員として働くことの心構えやマナーを実践できる。 ・就職内定(検討)先で研修を行う場合、当該企業の企業活動の概要を理解する。 								
評価方法	受入先企業等評価、日報、報告会内容及び態度								
教科書	—								
参考書	—								
関連する資格	—								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画		
実習・演習の進め方	担当教員との十分な事前打ち合わせ 受入先企業等の社員の指導下で『15日以上』の業務従事 報告会発表へ向けての振り返りと資料作り 報告会で発表	
回	項 目	授業内容
1	担当教員面談	受入先企業等の検討 各コース担当教員
2	インターンシップ実施	受入先企業等での業務に従事(実習) 各コース担当教員
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12	報告会(発表)準備	提出する報告書、報告会で使用するスライド(パワーポイント)作成 各コース担当教員
13	報告会(発表)実施	プレゼンテーション形式による発表 各コース担当教員
14	報告会(出席)	職場体験実習Ⅰ(1年)報告会の出席 各コース担当教員

注意事項	受入先企業等の選定や事前の準備など、所属するコースの教員と十分に相談を行うこと。 「業務従事中は受入先企業の一員である」意識を持ち、立ち居振る舞い(ビジネスマナー)に注意し、また実習時は不注意による怪我や器物の破損など、事故のないよう十分に留意すること。 マイスター科1年『職場体験実習Ⅰ』報告会(別日実施)に必ず出席すること。
学生へのメッセージ	これまでに学び得た知識・技能を活かしながらも「本当に現場で必要とされる人材となるには、残された学生生活で何を学ばなければならないのか」を自問自答する機会としてこの授業へ臨んでください。